



簡単、低成本で製版できるから ワークショップや 製版サービスに活用しています

株式会社 JAM

代表取締役 山川 正則 様

当社はもともとスピード印刷のプリントショップとして創業しました。しかし5年ほど経って、名刺100枚が1000円などというディスクレート時代になり「安い、早いだけではない付加価値を」と考えて、孔版印刷専門に舵を切りました。得意としていたデジタル孔版印刷機・リソグラフを駆使して孔版印刷の特長を活かした印刷に特化していました。また、隆起印刷(ツヤプリ)を手がけたり特殊紙を取り揃えるなど、個性的な印刷サービスを提供してきました。現在では「レトロ印刷JAM」の名前がアーティストやデザイナーにクチコミで浸透し、音楽関係のフライヤーやギャラリーのポストカード、カフェのショップカード、アーティストの小冊子などを小ロットで提供しています。

そんな中で、同じ孔版の仲間であるスクリーン印刷にも興味を持っていました。ただし、スクリーン印刷には乳剤製版をおこなう設備やそれを置く場所、専門のノウハウと技術が必要です。しかしデスクに置いてボタンを押すだけでスクリーン製版ができるゴッコプロ

100の存在を知り、「これなら使える」と導入しました。

当社では「印刷で遊ぶ、印刷と遊ぶ」をテーマに、ガリ版刷りなどの孔版印刷を体験できる様々なワークショップを毎月6回程度おこなっていますが、そのメニューの中にゴッコプロ100を使ったスクリーン印刷を加えたかったのです。このワークショップは材料代程度の参加費なのでコスト的には合いませんが、これは将来への「種まき」です。クリエイターの皆さんにスクリーン印刷の世界を知ってもらい、それによって表現の幅を広げてもらいたいと考えています。そういう「クリエイターを応援すること」も当社の企業理念なのです。

パソコンデータが出力できて 製版コストも安いので気軽に使える

ビジネスとしてはゴッコプロ100によるスクリーン製版サービスを始めています。当社に原稿を持参してもらいゴッコプロ100でその場で製版します。フレームは別売りで購入していただき、お客様ご自身で印刷していただきます。ターゲットは普段から印刷でお付き合いのあるクリエイターの皆さんやデザイン専門学校、美術大学の生徒さん達。専門学校や美大ではスクリーン印刷の授業がありますし、経験のない方でもワークショップでスクリーン印刷の楽しさを体験することで、次回から製版サービスを利用していくだると思いま

導入の決め手

- 1 簡単に製版できるので、ワークショップや製版サービスに活用できる。
- 2 データ原稿がそのまま製版できる。
- 3 製版コストが安いので印刷技法を広げる実験に気軽に使える。

す。

そこで重要なのは、ゴッコプロ100はデータ原稿を製版できること。今のアーティストやデザイナーはパソコンによる原稿作成が当たり前ですから、データ入稿ができなければ話になりません。イラストレーターやPDF、JPG形式のデータをそのまま製版できるのも、ゴッコプロ100を導入した大きな理由です。

また、当社の印刷技法を広げるトライ＆エラーにもゴッコプロ100を活用しています。ゴッコプロ100のスクリーンマスターは水性、油性を問わず印刷できますし、乳剤版と違って製版コストも安い。紙やインクを替えて様々な印刷実験が気軽に実験するので、いろんなオーダーに対応できるようになりました。お客様のご要望にお応えするための印刷の試行錯誤の積み重ねによって、現在の当社があるのです。



ランチョンマット

ワークショップ(写真左)の参加者の作品。綿100%に70メッシュのスクリーンマスターを使用。右の作品は1版に2色のインクを混色したマーブル仕上げ。



トートバッグ

JAMのスタッフがサンプルとして作成。素材は綿100%、70メッシュのスクリーンマスターを使用。

CORPORATE PROFILE

株式会社JAM

〒531-0072 大阪市北区豊崎6-6-23
Tel:06-6485-2602 Fax:06-6485-2603
URL <http://jam-p.com>



- インターネット通販の孔版印刷専門会社。デジタル孔版印刷機(リソグラフ)を使った多色刷り印刷でフライヤー、チラシ、ポストカード、名刺、小冊子などを小ロットで提供。オフセットやインクジェットプリントは一切行わず、孔版印刷ならではの特長を活かした「レトロ印刷」を売りにする。
- リソグラフを駆使した印刷技術は評価が高く、単なる商業印刷を越えて、アーティストやデザイナーにも支持される個性的な印刷会社である。